

修練、 奉仕、 友情



OTAKE 5 2020

社会開発部門 副理事長 河内 信治

人間力開発部門 副理事長 廣田 吉則

専務理事 河野 大輔

《活動報告 新年例会・2月例会・3月例会・4月例会》



社会開発部門 副理事長



Kouchi Shinji

河内 信治

本年度、社会開発部門の副理事長として、ふるさと創生委員会を担当致します。網代木理事長の掲げる『「愉」く変えていこう、笑顔あふれる未来へ』のもと、大竹の未来が笑顔であふれるまちになるよう日々活動しています。

マとして「愉しく・厳しく・愉しく」を掲げ、自分にも厳しく、そして今まで教わってきた厳しさで愉しさを後輩たちに伝えてまいります。

まちを笑顔に変えるにはまず我々会員が愉しく活動していくことが必要ですが、ただ愉しいだけではなく、愉しさの中にも青年会議所が教わる「厳しさ」を忘れてはいけないと思い、自分自身のテ

我々会員一同は大竹のまちを笑顔に変えていくため、大竹の未来を担う人材を育成するために真剣に活動に取り組んでおりますので、今後ともご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

人間力開発部門 副理事長



Hirota Yoshinori

廣田 吉則

本年度、人間力開発部門の副理事長としてパーソナルブランディング向上委員会を担当致します。

この部門においては人間力の開発、すなわち会員の資質・能力の向上を目的とする部門です。

担の増大や社会資本の維持管理、働き手不足となり、この大竹市も例外ではないと思います。

現在地方の問題として人口減少や働き手の不足、少子高齢化など様々な課題があります。少子高齢化にいたっては2030年には人口の3分の1が高齢者となる予測が出ており超高齢化社会に突入します。このことにより社会保障負

我々、青年会議所は明るい豊かな社会の実現のためこのような問題にも真正面から向き合っていかなければなりません。そのためにも個の力も重要になります。

会員それぞれが成長し強いリーダーとなるよう努力してまいりたいと思います。今後とも皆様のご協力ご指導賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

専務理事

河野 大輔



Kouno Daisuke

本年度専務理事という大役を拝命し、大変有り難く思います。

1年が始まり早4ヶ月が経ちます。本年度は、現在流行してきているコロナウイルスへの対応も含め、怒涛の如く入ってくる多様な情報の把握、方針等の調整、周知と慣れない事が多く、戸惑うこともございますが、一つ一つに決断を下して進んでいます。大変だと感じると共に、なかなか無い貴重な経験をさせていただいていると感じています。

本年度の理事長スローガンである『「愉」く変えていこう、笑顔あふれる未来へ』の実現に向け、会員皆が苦楽を共にし、力を合わせ「愉しく」活動に邁進できるよう、円滑な運営を行い、「愉しむ」会員の姿をまちの中へ広めて参りたいと存じますので、ご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

活動報告



新年例会

Fun to UP委員会 委員長 小田上 尚典

初めての例会運営であり、不安が多く至らない点が多くありましたが、皆様に手伝っていただき無事に設営することが出来ました。先輩方に盛り上げていただき、会場全体が愉しむ雰囲気に包まれました。

新しい体制で迎える初めての例会でしたので、今年度のそれぞれの役割を意識し、行動していただくことによりどのように愉しんで活動をしていくかを考えるきっかけとなり、私自身の活動の意欲も高まりました。

この例会で培ったことを活かすことができるよう、邁進してまいりますので、よろしくお願いいたします。



2月例会

パーソナルブランディング向上委員会 委員長 中野 友博

本年度当委員会では、パーソナルブランディング【組織内での個の価値向上】を目標に1年間活動しております。この度は【85分で創るのは、1年後の自分、10年後の未来】をテーマに、組織内での個の価値を認識することを目指しに例会を行いました。

組織という枠組みの中で、個性豊かなリーダーを育成していけば、多様な価値や考えを共有・発信ができ、地域の起点となる魅力あふれる人財が生まれます。目標設定の大切さをグループワーク形式で多角的に考察することで、自身の魅力を再発見して頂きました。

活動報告

ふるさと創生委員会 委員長 岩崎 静穂

3月例会では、市民提案型・市民参加型のまちづくりの必要性についてお話をいただきました。地域の方々の思いの中から、活動を創り出していくことの可能性や地域の方々と協力し共に取り組む必要性、1人1人の出来る事から始めることが大切であると知っていただけたと思います。

これからのまちづくりをどのように進めていくか、どうするかだけではなく、どうあるべきかを改めて考え、大竹市をより良いまちにしていくため、共に活動して下さる地域の方々への感謝を忘れず、協力しながら未来の「笑顔」に繋げていきたいと思っています。

3月例会 講師：平岡顕治 様

Fun to UP委員会 委員長 小田上 尚典

4月例会では「切れ目のない広報」を掲げ、1年間の活動を行なっていくにあたり、『PRと広報を知り、情報発信者となろう』と題し、SNSの情報発信について受信者の考え方を意識した発信者としての情報発信のプロセスを学び、体験していただきました。

急遽Web例会という方法を取り、初めての試みではありましたが、ディスカッションも行うことができ、会員一人ひとりが情報発信者であるという認識を持っていただけたのではないかと思います。

会員全員でこれから大竹青年会議所の活動を多くの方に知っていただき、理解していただけるように活動してまいりたいと思います。

今回は大竹青年会議所の副理事長と専務理事に寄稿いただきました。

本年度の活動をどのように行っていきたいのか、文章となるとまた身が引き締まる思いでした。新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な行事が中止となっている今だからこそ出来ることは何かを考え、表紙にあります『奉仕・修練・友情』を大切にしながら活動しなければならないと感じています。4月からWeb上での例会や理事会などを開催し、今できることに取り組んでおりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

編集後記：小田上 尚典



青年会議所 三信条 『修練・奉仕・友情』

修練：個人の修練 奉仕：社会への奉仕 友情：世界との友情

私たちの活動には様々な発見や気づきがあります。
私たちと一緒に活動してみませんか。



www.otakejcc.com/

大竹青年会議所

検索

